OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	癌と人　第36号　目次
Author(s)	
Citation	癌と人. 2009, 36
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/23564
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

◎題　字◎

財団法人　大阪癌研究会
元理事長　千　代　賢　治

＊表紙絵解説

「蟹」のいわれ

蟹の絵は川俣順一大阪大学名誉教授にお願いして描いてもらったものである。

癌に関係ある学会のシンボルマークに蟹の図案化したものがよく用いられている。

癌と蟹の関係の歴史は遠くギリシャ時代にさかのぼる。ギリシャの医聖ヒポクラテス著述のところどころに，今日私どもがいう癌と思われる記録がある。ヒポクラテスはそれを「カルキノス」と呼んでいる。カルキノスというのは日常一般に用いられていた言葉で，蟹のことである。ヒポクラテスが記述しているという病気（癌）の格好が蟹に似ていたのでそれを呼び名とした。

今日，欧米では日本でいう癌をカルチノーマと呼んでいる。それはカルキノスという言葉からきたもので，両者は同義語である。

ヒポクラテスはカルキノス（蟹）という日常語を純然たる医学語とした人である。癌と蟹の関係はそれ以来続いている。

第36号　目　次

・ごあいさつ …… 1
田　口　鐵　男
・がんを知ることが問題解決への道 …… 2
田　口　鐵　男
・がん患者と自殺 …… 5
辻　仲　利　政
・手足症候群　基礎・臨床・マネージメント… 10
田　口　哲　也
・温泉とがん …… 15
岩　永　　剛
・グルコポリサッカライドと自然免疫 …… 26
梶　本　庸　右
・元気で長生きするために
－食・眠・身・心－ …… 32
藤　田　昌　英
・マンモグラフィのコンピュータ診断支援
システム（CAD）について …… 38
沢　井　ユ　カ
・血小板凝集因子ポドプラニンの受容体解析と
その臨床応用 …… 42
金　子　美　華
・多発性骨髄腫の癌遺伝子 Maf の
活性制御機構 …… 43
片　岡　浩　介
・Akt を標的とする新規癌抑制遺伝子候補
PBP-X の単離とその異常による発癌解析… 44
佐々木雅人
・ヒト T 細胞白血病ウイルス 1 型の発癌機構
における遺伝子編集酵素 AID の関与 … 45
森　　直　樹
・DNA 傷害による細胞死誘導の仕組み … 47
吉　田　清　嗣
・安全でより強力な抗腫瘍効果を持つ
新規ヘルペスウイルス　ベクターの開発… 48
粕　谷　英　樹
・MGMT 発現低下を引き起こす化合物の
同定と脳腫瘍治療への応用 …… 50
笹　井　　研
・同種造血幹細胞移植後 GVHD における
末梢血液診断の可能性 …… 51
堀　江　　修
・分子時計による造血幹細胞制御と
その破綻による白血病発症の研究 …… 53
千　葉　　滋
・Epstein-Barr ウイルス癌遺伝子 LMP 1 と
siah-1 をめぐる論争について …… 54
吉　崎　智　一
・小胞体ストレスを介した放射線増感作用の
研究 …… 55
遠　藤　洋　子
・Priority の重要性：ヒト子宮平滑筋肉腫の
バイオマーカーの発見と新規診断法の確立… 57
林　　琢　磨
・平成 19 年度事業報告 …… 59
・平成 19 年度収支計算書等 …… 62
・平成 20 年度事業計画書 …… 67
・平成 20 年度収支予算書 …… 68
・平成 20 年度寄付者御芳名 …… 69
・財団法人大阪癌研究会寄附行為 …… 70
・㈶大阪癌研究会役員・評議員・賛助会員名簿… 73